

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・季節的な需要で平日の客の動きはあるが、休日は高速道路の料金引き下げを利用し、都市部へ出向く傾向にある。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・今までが極端に悪かったせいか、いろいろな企画が計画されるようになり、売上が若干前年を上回っている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・今月は、店の集客催事により来客数が増加した効果が売上に繋がっている。数か月前までは、来客数が増加しても売上に繋がらないケースが多かったが、今月は売上も増加している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が3か月前の92%から96%に向上している。
		家電量販店（予算・企画担当）	販売量の動き	・エコポイント制度が3月末で制度変更となる事を受けた「駆け込み需要」が見られ、販売数量・金額とも大きく前年を上回っている。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2月は、エコカー減税効果で売上が前年同月比115%となり7か月連続前年を上回っている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・補助金延長の影響と新型車の発表で新規来場が増加している。
		その他専門店〔和菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・3月に入り、連休、週末を中心に販売量が増加した。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・3月に入り来客数は前年を下回っているものの、徐々に回復している。また、週末を中心に人の動きが活発になってきている。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・シーズンオフから、ミドルシーズンに入ったので、宿泊単価が若干上昇している。また、前年に比べ、若干予約が増加している。
		観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・3月は宿泊、料飲、宴会すべての部門の売上が前年を上回る見込みである。3か月連続で前年を上回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・送別会の時期であり、3月と比べ宴会利用が多くなっており、前年と比較しても件数、来客数とも2割増加している。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・基本的には低調のままだが、来客の購買に関する前向きな発言が以前より増えている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・一部の客において新規案件の検討がなされている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・3月の利用促進の柱となるイベントでは、入園者数が週末を中心に増加傾向にある。
		テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・入館者数が予想どおりの数字となり、消費は戻りつつあると感じる。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・各店舗共に来客数は若干持ち直す動きが出ている。		
住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・住宅版エコポイント制度の開始に伴い、住宅の購入を検討する客が増加している。必ずしも契約につながってはいないが、客の動きは活発である。		
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・季節的な需要で、若干客の購買意欲は出てきているが、景気回復に結びつくものではない。	
	商店街（代表者）	単価の動き	・3月は、バーゲン等で若干売上は伸びたが、春物は天候不順等で不透明である。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は時間帯によってむらがあり、全体として大きくは変わらない。	
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・卒業式、送別会などの行事があり、人が動いている状況がある。取引先の飲食店の注文が2月より上向いている。	
	一般小売店〔酒店〕（営業）	販売量の動き	・販売量は前月並みの水準で推移しており、特に良くなる雰囲気はない。新製品など色々とアピールをしているが、客の財布のひもが固い状況である。	

百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・春商戦がスタートした。大型テナント導入の効果もあり、来客数は前年比プラスで推移している。宝飾、美術、メンズブランドスーツ等、高級高額品の動きも良くなってきている。ただ婦人ファッションについては、リクルート、卒入学関連商品の動きがあるものの、全体的にはマイナス基調で推移している。なお、前年比のマイナス幅は、改善してきている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は天候の影響で来客数が減少し、売上も前年同月比90%程度であり、少し悪い状況である。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・不安定な経済状況のもと、衣料品関係の売上は厳しい状況が続いている。客の低価格志向は続いているが、低価格の商品でさえ何時間もかけて、何回かに分けて検討した結果購入している。一方、物産関係は好調で売上も前年を大幅に上回っている。また、新規店（新規出店商品）には、早くから来客の行列ができる状況もあり、衣料より食という状況はこれまでと変わらない。
百貨店（電算担当）	販売量の動き	・前年に比べ来客数が大幅に減少し、固定的な売場の売上は減少している。その中で、消費者のニーズに合った北海道物産展などの催事が好調であり、全体の売上は前年同月比3%増加している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客の低価格志向は顕著である。しかも余分なものは購入されおらず、一人当たりの買上点数が前年を下回っている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に大きな変化はなく、良い状況にはない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年並み、客単価はほぼ横ばいで推移している。売上全体も大きな変化はない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・オンラインによる注文が約1割減少している。
衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・低価格商品のみが売れている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前年比で見ると実績が上回っているが、一昨年には戻っておらず、厳しい状況が続いている。
乗用車販売店（サービス担当）	来客数の動き	・来客数が前年よりかなり減少しており、新卒需要も就職難で難しい状況である。来店した客も財布のひもが固く、購入に当たってその場で契約に応じることはなく、必ず他店と比較検討を行っている。
乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・自動車販売関連では、良くなってきているが、就職できない（再就職も含む）、物が売れないなどの話もよく耳にすることから、業種によって状況の明暗が分かれている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前年はETC特需があり、大幅に売上が伸びたが、それを割り引いても売上面で苦戦が続いている。新しいタイヤへの履き替えが例年より少なく、今一つの傾向が続いている。
その他専門店【時計】（経営者）	来客数の動き	・例年3月は暖かくなり来客数も増加するが、今年は大抵天候の影響で客足が鈍り、低価格商品も売れていない。また、将来への不安からか、消費マインドが上がらない。
その他専門店【時計】（経営者）	来客数の動き	・春になり、来客数は増加したが、客の財布のひもはまだ固い。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・個人の利用が若干増えている。
その他飲食【サービスエリア内レストラン】（支配人）	お客様の様子	・この3か月間ほど、週末は伸びて平日は落ち込む状況が続いている。
都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・個人消費の回復が感じられず、引き続きレストランの苦戦が続いている。
都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・例年、この時期は多忙となるが、本年の各部門別予約状況は不調で、特に、宴会の部門が低調である。
タクシー運転手	来客数の動き	・今月の実績は前年並みで、夜の利用が伸び悩んでいる。
タクシー運転手	お客様の様子	・歓送迎会等で週末はにぎわうが、平日は変わらない。

	タクシー運転手	お客様の様子	・3月は平日は閑散としており、例年並みの動きである。企業によっては歓送迎会等を制約した形で行われるケースが多い。
	テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・団体客が募集ツアーを中心に増加し前年を上回っているが、気温の上らない天候が続き個人客が伸び悩んでいる。
	ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・来客数は若干減った程度だが、客単価が上がらず、売上は3か月前と変わらない。
	美容室(経営者)	競争相手の様子	・値下げやキャンペーンを開催しないと客が集まらない。また、来客の頻度も長くなっており、先行きが不透明である。
	美容室(経営者)	単価の動き	・デフレの影響から来客数が不透明である。
	その他サービス [介護サービス] (施設長)	それ以外	・特に景気に左右する大きな状況変化が起きていない。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・今月も景気が悪い、政治が悪い、売り上げが悪いなど悪いという言葉しか聞かえない。
	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・建築の新築件数は減少したままで、前年実績を下回っている。
	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・以前は新築住宅の件数が景気に左右されることはなかったが、現在引き合いがほとんどない。
やや悪くなっている	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・大きな販売促進策を実施すると客の反応があるが、平常の売上げ動向の悪化が進んでいる。
	百貨店(売場担当)	それ以外	・地方の駅前立地商店街に立地するが、商業地価下落率も相変わらず県内トップであり、衰退が顕著に進行中である。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・3月は前年の大幅マイナスの影響もあって、中旬頃までは前年同月比95%程度で推移している。久しぶりに衣料品が90%台後半だったが、婦人靴、ハンドバッグ、紳士服が低調だった。後半は前年同月割れが続ぎ、最終的には前年同月比93%~95%の見込みである。
	スーパー(販売担当)	来客数の動き	・ポイントサービスセールを行ったが、来客数に変化が見られなかった。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・3月上旬は今一つで、3週目には若干持ち直したが、4週目からさらに悪い落ち込みとなり、昨年同月を割り込む状況で推移している。
	衣料品専門店 (販売促進担当)	単価の動き	・今月、来客数は前年比150%で売上は若干増加しており、久々に人が動いている実感がもてた。しかし、前年から客単価がかなり低下しており、高額商品の動きも悪い。
	衣料品専門店 (地域ブロック長)	単価の動き	・セールによって来客数の増加を図っているが、単価の低下によって売上は厳しい状況である。
	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・天候不順で春物衣料が伸び悩んでいる。
	家電量販店(店長)	お客様の様子	・エコポイント制度の影響で薄型テレビは好調だが、商品単価の低下が著しく、売上全体での変更はない。また、客の財布のひもは固く、白物家電も、故障しないと買換えにつながらない状況である。
	その他飲食[ハンバーガー] (経営者)	来客数の動き	・前年の売上が好調だったこともあるが、8割の店舗で来客数が減少し、客単価も前年ほどインパクトのある商品がなく、伸び率は低下している。
	旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・通常であれば新年度の旅行計画について、具体的な客の動きがあるが、今年はいまだにない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・行事、宴会等でも客は公共交通機関を利用するなど、節約志向は続いており、前年比10%の売上減少が続いている。
	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・収入減少傾向が継続している。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き
スーパー(店長)		お客様の様子	・デフレの影響で、単価は下がっており、客も必要なものしか購入しない傾向にあり、売上は伸びていない。
スーパー(財務担当)		競争相手の様子	・消費者の低価格志向に対応するため、競合他社での低価格競争がますます激しくなっており、結果として1品単価の下落が続いている。

		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価及び来客数の減少で売上が減少している。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・低価格志向が根付いており、低価格商品、少量タイプの商品のみ売れている。
		住関連専門店（広告企画担当）	来客数の動き	・来客数、契約件数、単価すべて低下傾向にある。
		その他専門店〔海産物〕（支配人）	来客数の動き	・バスツアー等団体客の動きが特に悪くなっており、厳しい状況である。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・来客数は前年比2割減で、客単価も大幅に下がってきている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客は、安いもの、サービスがあるものに反応しており、低価格志向が定着しつつある。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注が回復してきている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・家電及びパソコン、特にエアコンの受注が好調で、約5か月先納入の商品もあり、生産達成に苦慮している状況になっている。
		通信業（部門長）	受注量や販売量の動き	・年度末で、一時的な駆け込み需要による注文の増加なのか判断し難い部分がある。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約数が増加している。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・一部の工場が減産に入った。その他の工場も依然としてフル稼働となっていない。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・エレクトロニクス関連材料の受注が好調を継続するとともに、販売店の在庫も大きく減少し、受注も活発化してきている。
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量に特に目立った動きはない。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年と大きな変化はなく、生産能力の半分程度に留まっている状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・売上について、国内市場では回復の兆しが見え始めてきたが、依然として海外市場は、冷え込みが続いている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の伸びはあるが、給与所得には反映されていない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・本来ならば工事最盛期に入る年度末であるが、全く上向く状況にないまま推移している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・依然として、まとまった物件の受注がないまま推移している。
		輸送業（統括）	受注量や販売量の動き	・例年3月は引越商繁期であるが、今年は客の引き合い件数も少なく、少量引越が多いため、売上げの拡大に結びつかない。
通信業（営業企画担当）		受注価格や販売価格の動き	・客からの引き合いは、昨年度末と比べ増加傾向にあるが、一件当たりの案件に関する単価は低下しており、必ずしも売上の増加につながらない。	
金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・欧米向けは伸び悩んでいるが、中国を中心としたアジア向けが前年比大幅増加を維持し、増収・増益になっている。		
金融業（営業担当）	取引先の様子	・景気については、低位な状況で推移していると感じる。特に、取引先の売上減少傾向は続いており、経費を切り詰めた中でギリギリの経営を行っている姿が見られる。大企業では、景気持ち直しのニュースも聞かれるが、地方の経営者は、消費回復の見通しには悲観的であり、先行きは不透明との認識が多い。消費者と多く接する経営者が、景気の回復に対し実感を持っていないことから、概ね横ばいで推移している。		
会計事務所（職員）	取引先の様子	・製造業は自動車関連も含めて忙しくなってきたが、受注単価の低迷が継続しており、売上の増加にはつながっていない。また、販売、サービス業は、年度末にもかかわらず売上が伸びていない。		
コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・例年の年度末特需で、中旬頃から徹夜作業になるが、今年はこの時期でも徹夜する事はない。		

	やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・2月の状況をその3か月前である前年11月と比較すると、水揚数量は360トン増加しているものの、水揚金額は8,870万円減少している。前年同月と比べると、水揚数量は103トン増加しており、水揚金額は4,900万円増加（前年同月比113.8%）である。
		食料品製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・練り製品の動きが悪い。大手は、工場稼働率を維持するため、低価格商品を提示しているが、中小企業は受注できない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向けは回復傾向にあるが、もう一つの柱である自治体向けのゴミ焼却炉の受注が少ない。一部の部署では1～3日間の臨時休業による生産調整を実施する。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・親企業の受注量は先月よりわずかしが伸びていない。また、値引きの要請を受けざるをえない状況で、今後は厳しくなる。
		輸送業（運送担当）	取引先の様子	・取引先の方からどんどん所得も下がり人員も減らされているとの話をよく耳にする。
	悪くなっている	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・現在、商品構成が高付加価値商品から低価格商品に移行しつつある上、品質基準は厳しくなる一方であり、生産工場としては非常に厳しい状況にある。
		その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注金額は大幅に減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報サイト運営（支店長）	求人数の動き	・緩やかではあるが、新卒・中途共に企業側の採用意欲が高まりが見られる。問い合わせも3か月前と比べて増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（支社長）	求人数の動き	・正社員の求人につながっていく、アルバイトやパートの求人数が増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・3月で出張等が増えてきている。また、ゴルフ等をする人が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は2か月連続で前年同月比増加となった。基幹産業の製造業は4割増となり、特にハードウェア製造関係の増加が目立った。最悪の状況だった前年同月と比べ、一部の業種で持ち直しの動きがみられるようになった。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・業務効率化のために一般事務員を正社員として採用する上場会社、需要拡大を狙って数名の募集をかけるシステム系会社、経営幹部候補を採用し社内改革を狙う小規模製造業など、次の一手へ向けた人的投資が見受けられるようになった。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は、前年と同様のため、景気回復までには至っていない。
		求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・引き続き新卒向けの合同説明会等の引き合いが低調である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・近隣の大型商業施設がテナント誘致で競合し、テナント料の下落が続いている。新規契約のためには価格を下げざるをえない状況で、売上が伸び悩むなか、商業施設管理者は家賃のデフレ傾向に悲鳴をあげている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人では、パート求人の減少よりフルタイム求人の減少幅の方が大きい状況が続いている。景気の先行きが不透明なことから正社員やフルタイムでの求人を控えている企業の様子が伺える。また、求人開拓のための事業所訪問の際、事業主からも同様の話が出るなど、景気の状態は悪い状態が変わらず続いている。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・有効求人数は前年同月比では引き続き減少傾向が続くが、前月比では2か月連続で増加している。特にパート求人について、新規求人数は前年同月比、前月比とも10%以上の大幅な増加となり持ち直しの動きが見られる。	
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・有効求人数は前年比で減少幅が徐々に小さくなってきたが、増加に転じる気配は今のところない。求人内容についてもパート求人が全体の4割近くを占めている。	
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・人材派遣の求人数は、減少傾向である。特に作業職に関しての求人は、前月比で大きく落ち込んでいる。	

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---